

# TIST

Tsukuba Institute of Science & Technology

令和8年度 3学年 前期シラバス

SEスペシャリスト専攻科

筑波研究学園専門学校

# 令和8年度 前期 3 学年用 授業概要 (シラバス)

## 目 次

<u>教科目</u>	<u>授業科目</u>	<u>ページ</u>
情報基礎	情報基礎	1
	情報処理試験対策 I	2
情報技術	情報技術	4
	RPA	5
	データサイエンス	6
	IoT システム開発	7
課題研究	課題研究	8
企業実習	企業実習	9
	企業実習 I	10
キャリア形成	キャリア形成	11
	情報活用 I	12

【教科目名】	情報基礎
--------	------

【教科目責任者】	木我 直樹
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

IT が欠かせない現代において、仕事の現場で他者との意思疎通をはかり業務を遂行するためには、IT 分野の専門知識・技術が必要とされています。

この教科目は情報処理技術者試験のレベル3（応用情報技術者試験）以上の資格取得を目標とし、専門分野における「スペシャリスト」を目指します。

経済産業省応用情報技術者試験

経済産業省高度試験

経済産業省情報処理安全確保支援士試験

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	情報処理試験対策Ⅰ	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
2	情報処理試験対策Ⅱ	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

<b>情報処理試験対策 I (AP) (授業形態：演習)</b>			
【教科目名】	情報基礎	【単位数】	5 単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	前期		
【年次】	1 年次	【授業時間数】	1 5 0 H
【授業担当者】	長山 努[実務経験]通信会社での法人営業、 佐藤 宏一郎 [実務経験]システム設計業務・国家試験対策、 宇都宮 勝 [実務経験]アプリ企画・開発、 木我 直樹		
【学習目標】	情報処理試験の問題演習を通して2年間で学んだ内容の理解を深め、応用力を身に付け、目標資格である応用情報技術者試験の合格を目指します。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	1 基礎理論/プロジェクトマネジメント①/情報セキュリティ 基礎理論/プロジェクトマネジメント②/情報セキュリティ 2 アルゴリズムとプログラミング/サービスマネジメント①/ 3 プログラミング 4 コンピュータ構成要素/サービスマネジメント②/ 5 システムアーキテクチャ 6 システム構成要素/システム監査/ネットワーク 7 ソフトウェア/システム戦略①/データベース 8 ハードウェア/システム戦略②、DXの推進/組込みシステム開発 ヒューマンインターフェース/システム企画/情報システム開発 9 中間試験 10 マルチメディア/経営戦略マネジメント/プロジェクトマネジメント 11 データベース/技術戦略マネジメント/サービスマネジメント 12 ネットワーク/ビジネスインダストリ/システム監査 セキュリティ/企業活動①/午後の総合問題① 13 システム開発技術/企業活動②/午後の総合問題② 14 ソフトウェア開発管理技術/法務①/午後の総合問題③ 15 法務②/午前の総合演習		
【資格との関連】	経済産業省応用情報技術者試験		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	応用情報重要ポイント100 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)		
【参考資料】	授業中に配布する資料		
【留意事項】	応用情報技術者試験は知識だけではなく、知識を応用した問題が出題されます。覚えるだけではなく、考えて解く問題が中心となりますので、一つ一つの問題をしっかりと理解することにより応用力を身に付けてください。授業だけではなく自宅学習もしっかり行い、より多くの問題を解くことにより、実力を養ってください。		

<b>情報処理試験対策 I (SC) (授業形態：演習)</b>			
【教科目名】	情報基礎	【単位数】	5 単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	前期		
【年次】	1 年次	【授業時間数】	1 5 0 H
【授業担当者】	長山 努[実務経験]通信会社での法人営業、 佐藤 宏一郎 [実務経験]システム設計業務・国家試験対策、 宇都宮 勝 [実務経験]アプリ企画・開発、 木我 直樹		
【学習目標】	情報処理試験の問題演習を通して2年間で学んだ内容の理解を深めます。 特に情報セキュリティに関する高度な知識を習得し、情報処理安全確保支援士試験の合格を目指します。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	1 情脅威とサイバー攻撃の手法 2 〃 3 セキュリティ技術——対策と実装 4 〃 5 セキュリティ技術——暗号と認証 6 〃 7 セキュリティマネジメント 8 〃 、中間試験 9 ソフトウェア開発技術とセキュリティ 10 ネットワーク 11 国際標準・法務 12 過去問演習① 13 過去問演習② 14 過去問演習③ 15 過去問演習④		
【資格との関連】	経済産業省情報処理安全確保支援士試験		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	令和 08 年【春期】【秋期】情報処理安全確保支援士 合格教本 (技術評論社)		
【参考資料】	授業中に配布する資料		
【留意事項】	情報処理安全確保支援士試験は情報処理試験の中でも難易度の高い試験となります。知識を蓄えるインプットと、問題演習を用いたアウトプットの学習をバランスよく行っていきましょう。授業だけではなく自宅学習もしっかり行い、より多くの問題を解くことにより、実力を養ってください。		

【教科目名】	情報技術
--------	------

【教科目責任者】	平松 浩幸
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

SEスペシャリスト専攻科では、ITデジタル学科での2年間の学びを基礎として、時代のトレンド技術を実践的に学びます。

この教科目では、「RPA、データサイエンス、IoTシステム開発、AWS基礎」といった昨今のIT業界で注目のトレンドを学び、より実践的で高度な知識・技術を身に付け、将来、ワンランク上のITエンジニア（システムエンジニア、プログラマ）として活躍することを目指します。

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	RPA	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
2	データサイエンス	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
3	IoTシステム開発	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
4	AWS基礎	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【授業科目名】	RPA（授業形態：演習）
---------	--------------

【教科目名】	情報技術	【単位数】	2単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	前期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H
【授業担当者】	木我 直樹		
【学習目標】	RPA（Robotic Process Automation）は、ソフトウェアロボットを使って人間が行うルーチンな作業を自動化する技術です。これにより、定型作業や繰り返し作業を自動化し、生産性を向上させることができます。この授業では作仕事をする上で、Excel やスケジュール管理、データベース処理など様々な作業を効率的に行う方法を身に付けることを目標とします。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Power Automateを知ろう</li> <li>2 基本操作を覚えよう①画面構成・アクションの基本・フロー作成</li> <li>3 基本操作を覚えよう②変数・データ型・条件分岐・繰り返し</li> <li>4 PDFを操作しよう①結合・画像抽出</li> <li>5 PDFを操作しよう②テキストの抽出</li> <li>6 Excelを操作しよう①データ行数の取得・転記</li> <li>7 中間課題（フローの制御とリストの利用）</li> <li>8 Excelを操作しよう②転記元ファイルの取得</li> <li>9 Excelを操作しよう③データの転記、条件による転記</li> <li>10 Webを操作しよう①テキスト・表の取得</li> <li>11 Webを操作しよう②Excelへの転記</li> <li>12 Webを操作しよう③繰り返し・条件分岐</li> <li>13 課題制作①</li> <li>14 課題制作②</li> <li>15 課題制作③</li> </ol>		
【資格との関連】	なし		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、授業課題、定期課題 等により総合的に評価します。		
【教科書】	よくわかる Power Automate ではじめる業務自動化入門（FOM 出版）		
【参考資料】	授業中に配布する資料		
【留意事項】	ノートパソコンの持ち込み可。 Excel やスケジュール管理、データベース処理など、様々な作業を効率的に行う力を身に付けるために、具体的な操作や自動化のコツを学びながら、実際に手を動かして学びます。		

【授業科目名】	<b>データサイエンス</b> (授業形態：講義)		
【教科目名】	情報技術	【単位数】	3 単位
【学科名】	SE スペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	前期		
【年次】	1 年次	【授業時間数】	60 H
【授業担当者】	小泉 秀哲 [実務経験] メーカーでの SE 業務、学習塾運営 ・ 外部講師		
【学習目標】	Python 言語のデータの加工・分析に必要な様々なライブラリ (Pandas、join、Numpy、Matplotlib など) の使い方を学びます。様々なライブラリを使用したプログラムを作成し、Python を使ったデータ加工・分析方法が実務で利用できるようになることを目指します。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 データサイエンスとは</li> <li>2 データサイエンスの基本的な流れ</li> <li>3 問題の定義</li> <li>4 データ収集と前処理</li> <li>5 探索的データ分析</li> <li>6 確証的データ分析</li> <li>7 結果の活用</li> <li>8 データの種類①、中間課題</li> <li>9 データの種類②</li> <li>10 データのばらつき</li> <li>11 複数の項目の関係性</li> <li>12 2つのカテゴリーの関係性</li> <li>13 データの理想型「正規分布」</li> <li>14 仮説検定</li> <li>15 予測モデリングとその評価、期末課題</li> </ol>		
【資格との関連】	経済産業省基本情報技術者試験 経済産業省応用情報技術者試験		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	データサイエンス 1 年生 Python で体験してわかる！会話でまなべる！ (翔泳社)		
【参考資料】	授業中に配布する資料		
【留意事項】	Python や AI やデータ分析に優れた様々なライブラリが備わっている言語です。Python でライブラリを用いた様々なプログラムが作成できるようになりましょう。		

【授業科目名】	<b>IoTシステム開発</b> (授業形態：演習)		
【教科目名】	情報技術	【単位数】	4単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	前期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	120H
【授業担当者】	鈴木 信也 [実務経験] エンジン制御・画像認識・モバイルサービス開発		
【学習目標】	ARM プロセッサを搭載したシングルボードコンピュータである Raspberry Pi を用いて、デジタル入出力、I2C・SPI インタフェース、AD 変換、PWM 制御、無線通信等について学びます。Raspberry Pi を使ったセンサネットワークの構築や Web サービスの実装ができるようになることを目指します。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Raspberry Piでできること、IoTシステムについて、開発環境構築</li> <li>2 デジタル入出力について</li> <li>3 デバイスの接続① [I2C通信]</li> <li>4 デバイスの接続② [SPI通信]</li> <li>5 アナログデータの取り扱い [AD変換]</li> <li>6 アクチュエーターの制御 [PWM制御]</li> <li>7 中間課題作成・提出 (入出力を使ったプログラム)</li> <li>8 無線モジュール [ESP32] の利用①</li> <li>9 無線モジュール [ESP32] の利用②</li> <li>10 環境データ監視システム① [データ収集]</li> <li>11 環境データ監視システム② [データ保存]</li> <li>12 環境データ監視システム③ [データ表示]</li> <li>13 環境データ監視システム④ [データ公開]</li> <li>14 期末課題作成 (環境データ監視システムの応用)</li> <li>15 期末課題作成・提出</li> </ol>		
【資格との関連】	経済産業省基本情報技術者試験 経済産業省応用情報技術者試験		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	Raspberry Pi による IoT システム開発実習 (森北出版)		
【参考資料】	授業中に配布する資料		
【留意事項】	Raspberry Pi は Linux OS で動作するシングルボードコンピュータですので、基本的な Linux のコマンドを使えること、また Python の基本が理解できていることが前提になります。修得が不十分な場合は、復習しながら学んでください。		

【教科目名】	課題研究
--------	------

【教科目責任者】	小泉 秀哲
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

SEスペシャリスト専攻科では、当学科での2年間の学びを基礎として、時代のトレンド技術を実践的に学びます。

この教科目では、2年課程で学んだITの基礎知識・技術をベースに、企業等と連携して実務レベルの情報システム的设计・開発による課題解決をはかることを実践的に学び、実社会で即戦力として活躍できるITエンジニアを目指します。

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	課題研究	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【教科目名】	企業実習
--------	------

【教科目責任者】	小泉 秀哲
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

将来の仕事を考える上で、業界・企業・事業内容を理解する必要があります。また、どんな仕事を、誰が、何のためにやっているのか、その仕事のやりがいや面白さは何なのか、なども理解する必要があります。

この教科目では、当学科が目指す職業の現場実習を通して、働く上での心構えや仕事へ取り組む姿勢を学ぶとともに、授業の中で習得する知識や技術が実践でどのように活かされているか等、経験を通して理解します。

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	企業実習Ⅰ	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
2	企業実習Ⅱ	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【授業科目名】	企業実習Ⅰ（授業形態：実習）		
【教科目名】	情報技術	【単位数】	2単位
【学科名】	IT デジタル学科	【コース】	SEスペシャリスト専攻科
【学習時期】	前期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	60H
【授業担当者】	小泉 秀哲 [実務経験]メーカーでのSE業務、学習塾運営・外部講師		
【学習目標】	当学科が目指す職業の現場実習を通して、職業人としての心構えや仕事へ取り組む姿勢を学ぶことを目的とします。 内定先企業にて実習を行うことにより、実践的な業務の実習を行い実スムーズにスタートできるよう準備を行います。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	20H	学内オリエンテーション 就職活動サポート スケジュールの確認 職業観・実習の目的・達成目標の共有 実習における諸注意	
	40H	企業内での実務実習 挨拶、身だしなみ 清掃、整理整頓 指示の受け方 報告・連絡・相談 実務の体験 報告書作成	
【資格との関連】	特になし		
【成績評価方法】	実習評価項目に従い、現場指導者に実習評価をいただき、その評価を元に、担当教員が成績評価・単位認定を行います。		
【教科書】	なし		
【参考資料】	授業中に配布する資料		
【留意事項】	内定先の企業へ実習に行きます。 前期の内に内定を頂けるよう就職活動を進めて下さい。		

【教科目名】	キャリア形成
--------	--------

【教科目責任者】	岡田 地余
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

この授業では、資格を取るための勉強や、情報を上手に使う力を学びます。また、学校の外での実習や体験を通して、将来の進路に必要な力を身につけることを目標とします。

演習や実習では、自分から考えて課題に取り組む力や、仕事で役に立つ実践的な力を育てます。そして、自分の将来について考え、自分でキャリアをつくっていく力を身につけます。

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象コース】	【学習時期】
1	情報活用Ⅰ	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
2	情報活用Ⅱ	SEスペシャリスト専攻科	1年後期
3	学外実践学習	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【授業科目名】	情報活用Ⅰ（授業形態：演習）
---------	----------------

【教科目名】	情報技術	【単位数】	1 単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	前期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	15H
【授業担当者】	岡田 地余		
【学習目標】	本授業では、情報リテラシーやアプリケーションの活用方法を学び、情報を適切に収集・整理・活用する力を身につけることを目標とします。また、情報を活用した課題解決型の演習を通して、自ら考え、行動する力を育てます。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	1 情報リテラシー 2 アプリケーション活用 3 〃 4 〃 5 〃 6 SNS 活用と情報モラル 7 情報セキュリティ 8 情報収集・情報整理 9 課題解決に向けた情報活用① 10 〃 11 〃 12 課題解決に向けた情報活用② 13 〃 14 〃 15 期末課題		
【資格との関連】	なし		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	なし		
【参考資料】	必要に応じてプリント等の資料を配布します。		
【留意事項】	社会では自ら課題に気づき、主体的に行動することが求められます。本授業においても、与えられた課題だけでなく、自分で課題を見つけて取り組む姿勢を大切にしてください。		

# TIST

Tsukuba Institute of Science & Technology

令和8年度 3学年 後期シラバス

SEスペシャリスト専攻科

筑波研究学園専門学校

# 令和8年度 後期 3 学年用 授業概要 (シラバス)

## 目 次

<u>教科目</u>	<u>授業科目</u>	<u>ページ</u>
情報技術		1
	AWS 基礎	2
課題研究		3
	課題研究	4
情報基礎		5
	情報処理試験対策Ⅱ	6
企業実習		7
	企業実習Ⅱ	8

【教科目名】	情報技術
--------	------

【教科目責任者】	小泉 秀哲
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

SEスペシャリスト専攻科では、ITデジタル学科での2年間の学びを基礎として、時代のトレンド技術を実践的に学びます。

この教科目では、「RPA、Python データ分析、IoT システム開発、AWS 基礎」といった昨今のIT業界で注目のトレンドを学び、より実践的で高度な知識・技術を身に付け、将来、ワンランク上のITエンジニア（システムエンジニア、プログラマ）として活躍することを目指します。

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	RPA	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
2	Python データ分析	SEスペシャリスト専攻科	
3	IoT システム開発	SEスペシャリスト専攻科	
4	AWS 基礎	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【授業科目名】	<b>AWS基礎(授業形態：講義)</b>		
【教科目名】	情報技術	【単位数】	2単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	後期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	60H
【授業担当者】	鈴木 信也 [実務経験] エンジン制御・画像認識・モバイルサービスに従事		
【学習目標】	代表的なクラウドサービスであるAWSの基礎を知るとともに、AWSを使ったサイトの公開などの運用方法を学びます。AWSを使用したWebサーバーの構築・運用ができるようになることを目標とします。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	1 Amazon Web Service(AWS)とは 2 AWSを始めよう 3 Webサイトを公開しよう (1) 4 Webサイトを公開しよう (2) 5 LEMP環境でWordPress (1) 6 LEMP環境でWordPress (2) 7 LEMP環境でWordPress (3) 8 中間課題 (Webサイトの公開) 9 データベースの活用 (1) 10 データベースの活用 (2) 11 データベースの活用 (3) 12 固定IPアドレスとドメイン名の使用 (1) 13 固定IPアドレスとドメイン名の使用 (2) 14 安全な通信を使う 15 期末課題 (WordPressサイトの作成)		
【資格との関連】	AWS 認定クラウドプラクティショナー		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	ゼロからわかる Amazon Web Services 超入門 はじめてのクラウド 改訂新版 (技術評論社)		
【参考資料】	必要に応じてプリント等の資料を配布します。		
【留意事項】	Amazon が提供する AWS には様々なサービスが存在します。中でも Web サーバーの構築・運用は、AWS の代表的なサービスのひとつです。この授業を通して AWS の基礎をしっかりと身に付けましょう。		

【教科目名】	課題研究
--------	------

【教科目責任者】	小泉 秀哲
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

SEスペシャリスト専攻科では、当学科での2年間の学びを基礎として、時代のトレンド技術を実践的に学びます。

この教科目では、2年課程で学んだITの基礎知識・技術をベースに、企業等と連携して実務レベルの情報システム的设计・開発による課題解決をはかることを実践的に学び、実社会で即戦力として活躍できるITエンジニアを目指します。

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	課題研究	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【授業科目名】	<b>課題研究(授業形態：演習)</b>		
【教科目名】	課題研究	【単位数】	5単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	後期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	165H
【授業担当者】	鈴木 信也 [実務経験] エンジン制御・画像認識・モバイルサービスに従事 小泉 秀哲 [実務経験] メーカーでのSE業務・学習塾運営、外部講師		
【学習目標】	企業との連携による情報システムの設計・開発を通じた問題解決を実践的に学び、より高度な専門スキルを身に付けることを目標とします。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	1 企業からの課題テーマの提示 2 課題テーマに基づき、システム開発の範囲（スコープ）の検討 3 // 4 課題テーマに基づくシステム設計・開発 5 // 6 // 7 // 8 途中成果物のレビュー 9 課題テーマに基づくシステム設計・開発 10 // 11 // 12 // 13 // 14 // 15 成果物のレビュー・プレゼン		
【資格との関連】	特になし		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	特になし		
【参考資料】	必要に応じてプリント等の資料を配布します。		
【留意事項】	実務レベルの情報システムの制作を通して、専門性の高い技術を学びますので、技術の修得に積極的に取り組みましょう。		

【教科目名】	情報基礎
--------	------

【教科目責任者】	小泉 秀哲
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

IT が欠かせない現代において、仕事の現場で他者との意思疎通をはかり業務を遂行するためには、IT 分野の専門知識・技術が必要とされています。

この教科目は情報処理技術者試験のレベル3（応用情報技術者試験）以上の資格取得を目標とし、専門分野における「スペシャリスト」を目指します。

経済産業省応用情報技術者試験

経済産業省高度試験

経済産業省情報処理安全確保支援士試験

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	情報処理試験対策Ⅰ	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
2	情報処理試験対策Ⅱ	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【授業科目名】	<b>情報処理試験対策Ⅱ（授業形態：演習）</b>		
【教科目名】	情報基礎	【単位数】	5単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	後期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	150H
【授業担当者】	長山 努[実務経験]通信会社での法人営業、 佐藤 宏一郎 [実務経験]システム設計業務・国家試験対策、 宇都宮 勝 [実務経験]アプリ企画・開発、 木我 直樹		
【学習目標】	情報処理試験の問題演習を通して2年間で学んだ内容の理解を深め、応用力を身に付け、目標資格である応用情報技術者試験の合格を目指します。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	1 基礎理論/プロジェクトマネジメント①/情報セキュリティ 基礎理論/プロジェクトマネジメント②/情報セキュリティ 2 アルゴリズムとプログラミング/サービスマネジメント①/ 3 プログラミング 4 コンピュータ構成要素/サービスマネジメント②/ 5 システムアーキテクチャ 6 システム構成要素/システム監査/ネットワーク 7 ソフトウェア/システム戦略①/データベース 8 ハードウェア/システム戦略②、DXの推進/組込みシステム開発 ヒューマンインターフェース/システム企画/情報システム開発 9 中間試験 10 マルチメディア/経営戦略マネジメント/プロジェクトマネジメン 11 ト 12 データベース/技術戦略マネジメント/サービスマネジメント ネットワーク/ビジネスインダストリ/システム監査 13 セキュリティ/企業活動①/午後の総合問題① 14 システム開発技術/企業活動②/午後の総合問題② 15 ソフトウェア開発管理技術/法務①/午後の総合問題③ 法務②/午前の総合演習		
【資格との関連】	経済産業省応用情報技術者試験		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	応用情報重要ポイント100（インフォテック・サーブ） 応用情報技術者午前問題集（インフォテック・サーブ） 応用情報技術者午後問題集（インフォテック・サーブ）		
【参考資料】	必要に応じてプリント等の資料を配布します。		
【留意事項】	応用情報技術者試験は知識だけではなく、知識を応用した問題が出題されます。覚えるだけではなく、考えて解く問題が中心となりますので、一つ一つの問題をしっかりと理解することにより応用力を身に付けてください。授業だけではなく自宅学習もしっかり行い、より多くの問題を解くことにより、実力を養ってください。		

【教科目名】	企業実習
--------	------

【教科目責任者】	小泉 秀哲
----------	-------

【対象学科】	
SEスペシャリスト専攻科	SEスペシャリスト専攻科

**【学習の目的・趣旨】**

将来の仕事を考える上で、業界・企業・事業内容を理解する必要があります。また、どんな仕事を、誰が、何のためにやっているのか、その仕事のやりがいや面白さは何なのか、なども理解する必要があります。

この教科目では、当学科が目指す職業の現場実習を通して、働く上での心構えや仕事へ取り組む姿勢を学ぶとともに、授業の中で習得する知識や技術が実践でどのように活かされているか等、経験を通して理解します。

**【授業構成】**

【番号】	【授業科目名】	【対象】	【学習時期】
1	企業実習Ⅰ	SEスペシャリスト専攻科	1年前期
2	企業実習Ⅱ	SEスペシャリスト専攻科	1年後期

【授業科目名】	<b>企業実習Ⅱ（授業形態：実習）</b>		
【教科目名】	企業実習	【単位数】	2単位
【学科名】	SEスペシャリスト専攻科	【コース】	
【学習時期】	後期		
【年次】	1年次	【授業時間数】	60H
【授業担当者】	小泉 秀哲[実務経験]メーカーでのSE業務・学習塾運営、外部講師		
【学習目標】	当学科が目指す職業の現場実習を通して、職業人としての心構えや仕事へ取り組む姿勢を学ぶことを目的とします。 内定先企業にて実習を行うことにより、実践的な業務の実習を行い4月からの社会人生活をスムーズにスタートできるよう準備を行います。		
【授業計画】	授 業 内 容		
	1	ディベートについて	
	2	即興型ディベートのルールと流れ	
	3	質問力について考える	
	4	賛成側・反対側の「立論」のコツとポイント	
	5	審査員の役割と務め方	
	6	「ディベート力」を鍛える練習方法	
	7	論理的思考力について	
	8	論理的思考力問題演習①	
	9	論理的思考力問題演習②	
	10	論理的思考力問題演習③	
	11	ディベート演習①	
	12	ディベート演習②	
	13	ディベート演習③	
	14	ディベート演習④	
	15	ディベート演習⑤	
	30H	企業内での実務実習 挨拶、身だしなみ、清掃、整理整頓、指示の受け方 報告・連絡・相談、実務の体験、報告書作成	
【資格との関連】	特になし		
【成績評価方法】	出席状況、受講態度、提出課題および試験等により総合的に評価します。		
【教科書】	即興型ディベートの教科書（あさ出版）		
【参考資料】	必要に応じてプリント等の資料を配布します。		
【留意事項】	内定先の企業へ実習に行きます。4月からの勤務がスムーズに行えるように社員の方の指導を受け責任ある行動を心掛けてください。		